

■上野彦馬 写真術を知るや猛烈に独習、長崎にわが国初の写真館を開業し、維新後も活躍、写真家の先駆にもなった。

うえのひこま

適塾ホヰン・1838＝ 長崎で、島津藩で\_日本最初のダグレオタイプを試みた上野俊之丞の次男に生まれる。

勲進帳初演・1840＝ 2歳：のちに良き協力者となる弟が誕生。

天保改革弾圧1842＝ 4歳：寺子屋に入り、勉学。

阿部正弘首座1845＝ 7歳：

・・・1847＝ 9歳：

尊徳報徳論・1851＝13歳：父が死去。

ペリー来航・1853＝15歳：父の生前の依頼で親がわりになった木下逸雲に勧められ、豊後日田の広瀬淡窓の下で漢学を学んだ後、

松下村塾・・・1856＝18歳：\_長崎で通詞からオランダ語を、

蕃書調所・・・1857＝19歳：\_オランダ政府派遣の海軍医ボンペの医学伝習所で舎密学(化学)を学ぶ。ここで写真術のことを知って、猛烈に独習し、ボンペの励ましや先輩堀江鍼次郎の協力を得て、ついに写真機や薬品を自製、

安政の大獄・1859＝21歳：\*長崎にやってきたフランスの写真師ロツェの助手となり、さらに研究。堀江が出身地の津の藩主に頼んで写真機を買って貰うことに成功。藩主の命で江戸に出て撮影。

桜田門外変・1860＝22歳：

遣欧使節・・・1861＝23歳：藩校で藩士たちに蘭学、化学、写真術を教えるために津に行った後、

生麦事件・・・1862＝24歳：長崎に帰る。\*堀江と共著で「舎密局必携」を出版、近代的化学を紹介した。日本最初の営業写真館を開設

。(下岡蓮杖の横浜での開業と同時期)始めは迷信で恐れられ客は殆ど外国人であったが、

\_コロジオン湿板を使った写真撮影が次第に好評を博し、

薩摩藩士密航1865＝27歳：\_坂本竜馬、高杉晋作、伊藤博文ら維新の志士たちも、長崎に赴いて、肖像を撮影。

薩長同盟・・・1866＝28歳：結婚。木下逸雲が死去。

明治維新・・・1868＝30歳：

\_弟子入りする者も多くなり、

明治6年政変 1873＝35歳：

佐賀の乱・・・1874＝36歳：\*金星が太陽をかすめる現象があり、アメリカとフランスの観測隊が長崎にきた時、アメリカの天文学者の要請で日本最初の天体観測撮影を行う。

西南戦争・・・1877＝39歳：\_西南の役では従軍カメラマンになって、戦場を撮影。内国勲業博覧会で鳳紋賞。

琉球処分・・・1879＝41歳：\_長崎を訪れたアメリカの元大統領グラント将軍を撮影。内国勲業博覧会で一等賞。

明治14年政変1881＝43歳：\_乾板を使うようになる。内国勲業博覧会で有功賞。

新体詩抄・・・1882＝44歳：\_今までの撮影所を壊して、スタジオ付きの大邸宅にする。

岩倉具視没・1883＝45歳：

帝国憲法発布1889＝51歳：\_長崎市役所の地鎮祭から落成までを写真で記録。

足尾鉍毒始・1891＝53歳：\_長崎を訪れたロシアの皇太子ニコライ二世を撮影。

大本教・・・1892＝54歳：

郡司千島探検1893＝55歳：\_シカゴの世界博覧会で入賞。

日清戦争始・1894＝56歳：

白馬会・・・1896＝58歳：東京で開業していた弟幸馬が死去。

田中正造直訴1901＝63歳：

日露戦争始・1904＝66歳：\_病没した。